

スティーヴ・カーン

アメリカからのフラメンコの眼（まなざし）

スティーヴ・カーン氏は、1943年12月29日にアメリカのカリフォルニア州ロサンゼルスで生を受け、ニューヨーク市の大学で物理と数学を専攻した。その後、1967年23歳のとき、以前から名前を耳にしていた、ギタリストのディエゴ・デル・ガストールを求めてモロン・デ・ラ・フロンテーラに旅し、それが彼の人生を変えることになった。

モロンで、カーン氏はフラメンコとモロンのフラメンコたちが生きるライフスタイルを吸収し、その間にこの地で出会ったフラメンコたちに特有の心象風景を心の中に深くきざみつけた。この地モロンで、フラメンコと、フラメンコを生きるスタイルを身体で吸収し、その間にこの地で出会ったフラメンコたちに特有の心象風景を心の中に深く刻みつけた。

その経験から、アメリカに帰国して、写真家として働くことを決め、ただ芸術的な写真集というだけでなく、国際的にいろいろな国でも興味を持たれ、民俗学的にも興味を惹く独自の活動を計画、ほかの外国人旅行者たちの撮影した写真を加えた写真集の出版に[フラメンコ・プロジェクト]と名付ける。

Cajasol 基金の主催によるフラメンコ・プロジェクトの巡回写真展は、ヘレス・デ・ラ・フロンテーラとセビージャを皮切りにアンダルシア州各地で催されたが、展覧会の終わりにあたり、スティーヴ・カーン氏はプロジェクトで収録した写真をモロン市役所に寄贈し、その貴重な作品は市役所の展示室に展示されることになった。その後、セビージャ県議会の合意のもと県の各地で巡回展を実施し、写真の一部は、昨年フランスのニーム市にも譲渡された。

モロン市は、この類まれな、価値あるある資産の贈与を受け、スティーヴ・カーン氏の才能と、フラメンコと我が町モロンへの寛大な思いやりの心に最大の敬意を払うことを決定し、ここに深甚なる感謝の意を表すものとする。